

事後評価結果(令和6年度)

担 当 課:東北地方整備局 道路計画第一課
 担当課長名:石原 佳樹

事業名	三陸沿岸道路 釜石～宮古 (一般国道45号(三陸沿岸道路)釜石山田道路)			事業区分	一般国道		事業主体	国土交通省 東北地方整備局	
起終点	自:岩手県釜石市甲子町第13地割 至:岩手県下閉伊郡山田町船越						延長	23.0km	
事業概要									
三陸沿岸道路(釜石～宮古)は、岩手県釜石市から岩手県宮古市に至る延長約50kmの高規格道路である。 釜石山田道路は、三陸沿岸道路の一部を形成し、岩手県釜石市甲子町第13地割から下閉伊郡山田町船越に至る延長23.0km、2車線の自動車専用道路である。									
事業の目的・必要性									
三陸沿岸道路(釜石～宮古)は、混雑緩和、事故減少、災害時の信頼性の確保、救急医療支援、地域産業支援・物流支援、観光・地域交流支援、企業立地支援、日常生活利便性向上を目的とした、岩手県釜石市から岩手県宮古市に至る延長約50kmの高規格道路であり、釜石山田道路はその一部を構成する道路事業である。									
事業概要図									
【位置図】									
【標準横断面図】									
【事業概要】									
事業の概要									
事業の 効果等	事業期間	事業化年度	平成5年度	用地着手	平成13年度	供用年	(当初) — /H30	変動	1.0倍
		都市計画決定	平成8年度	工事着手	平成16年度	(暫定/完成)	(実績) — /R1		
	事業費	計画時	(名目値) — / 910億円	実績	(名目値) — / 1,038億円			変動	1.1倍
		(暫定/完成)	(実質値) — / 871億円	(暫定/完成)	(実質値) — / 1,068億円				
	交通量 (当該路線)	計画時	(H17)	実績	(R6)			変動	106%
		(暫定/完成)	— /10,900台/日	(暫定/完成)	— /11,600台/日				
旅行速度向上									
交通事故減少									
費用対効果									
分析結果									
費用対効果									
分析結果									
事業遅延による									
コスト増									
費用増加額									
— 億円									
便益減少額									
— 億円									

	事業遅延の理由 ・特になし
	交通量変動の理由 ・計画時は事業化ネットワークで完成した条件で推計しているが、実績は周辺道路等が開通していないため、交通量変動が生じたものと考えられる。 ・推計に用いられる予測されたOD需要と実際の交通需要の違いから、交通量に変動が生じたものと考えられる。
	客観的評価指標に対応する事後評価項目 ①円滑なモビリティの確保 ・山田町から第三種空港である花巻空港へのアクセス性が向上(整備前:134分→整備後:113分) ②物流効率化の支援 ・山田町から重要港湾である釜石港へのアクセス性が向上(整備前:45分→整備後:28分) ③安全で安心できるくらしの確保 ・三次医療施設へのアクセス性が向上(宮古市～大船渡病院 整備前:113分→整備後:82分) 他17項目に該当
	その他評価すべきと判断した項目 ・特になし
事業による環境変化	環境影響評価に対応する項目 ・特になし
	その他評価すべきと判断した項目 ・特になし
事業評価監視委員会の意見	
・「今後の事後評価及び改善措置の必要性はない」という対応方針(案)は妥当である。	
事業を巡る社会経済情勢等の変化	
・平成31年3月までに東北横断自動車道釜石秋田線(釜石～花巻)が全線開通。 ・令和2年度に田鎖墓目道路が事業化、令和3年3月までに宮古盛岡横断道路(宮古～盛岡)が全線開通。 ・令和2年度の事業評価監視委員会において、洋野種市ICの形状を変更。 ・令和3年度に箱石達曽部道路が事業化。令和3年12月までに三陸沿岸道路が全線開通。 ・令和4年度に山田改良が事業化。 ・令和5年4月に道の駅「いわて北三陸」がオープン、令和5年7月に道の駅「やまだ」が移転。	
今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性	
・事業の目的に対する効果を概ね発現しており、現時点では今後の事後評価及び改善措置の必要性はない。	
計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性	
・当該事業の整備目的について効果発現を確認できており、事業評価手法の見直しの必要性はない。	
特記事項	
・特になし	

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※B/C の上段の値は事業区間を含む広域ネットワーク区間を対象とした場合、下段()書き B/C の値は事業区間を対象とした場合の費用便益分析の結果。